

2026 年 2 月 13 日

各位

東京都台東区上野 1 丁目 15-3

会社名 **株式会社 ナガホリ**

代表者名 代表取締役社長 長堀 慶太
(コード番号 8139 東証スタンダード)

問合せ先 常務取締役管理本部長 吾郷 雅文
(TEL. 03-3832-8266)

令和 8 年 3 月期通期の連結業績予想の上方修正並びに 配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和 7 年 5 月 9 日に公表いたしました令和 8 年 3 月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。併せて、令和 7 年 5 月 9 日に公表いたしました令和 8 年 3 月期の期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 令和 8 年 3 月期通期の連結業績予想数値の修正 (令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,000	950	770	400	26.08
今回発表予想 (B)	26,500	1,300	1,200	600	39.13
増減額 (B - A)	2,500	350	430	200	
増減率 (%)	10.4	36.8	55.8	50.0	
(ご参考) 前期実績 (令和 7 年 3 月期)	22,891	723	650	406	26.50

(2) 修正の理由

ジュエリー業界におきましては、インバウンド需要が落ち着く一方で高額商品需要も見られ、貴金属の地金価格の上昇が続くなか地金製品が好調に推移するなどの動向が見られました。一方で、製品価格の上昇や世界の政治経済動向がジュエリー商品に与える影響など、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、富裕層マーケットをコアとする販売チャネルや商品ブランドに重点的に経営資源を投下する「選択と集中」の方針のもと、自社催事や顧客催事等の販売活動に取り組みました。また、M&A により札幌百貨店の店舗を展開する株式会社翔を子会社とし販売網の拡大を図り、前期 3 月に店舗を開設した海外の有力ブランドによる商品力強化、財務の安定のため当座貸越等による資金調達、販売増につながる商品仕入や自社ブラ

ンドの雑誌及び SNS での広告等により販売強化を図りました。一方で、金価格高騰の中、地金製品販売がグループ各社で増加し、グループ内製造の増大につながりました。さらに、海外販売網の拡大や小売店舗販売などグループ各社において積極的に取り組みました。

これによる業績動向を受けまして、通期連結業績予想につきましては、第3四半期の販売動向から売上高の増加が見込まれることを織り込み、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても前回予想を上回る見込みであります。

これらの結果、令和7年11月9日発表いたしました令和8年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。

2. 配当予想の修正について

(1) 令和8年3月期の配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (令和7年5月9日発表)		10.00	10.00
今 回 修 正 予 想		15.00	15.00
当 期 実 績	0.00		
前 期 実 績 (令和7年3月期)	0.00	10.00	10.00

(2) 修正の理由

当社は、株主に対し安定した配当を継続して行うことを配当の基本方針としつつ、配当性向40%を目安としております。連結当期純利益の予想を上方修正したことから、期末配当を令和7年5月9日に公表しました配当予想から、1株当たり15円の配当予想に修正するものであります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因により変動する可能性があります。

以 上